

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市袋原たんぽぽホーム	
2 指定管理者	社会福祉法人仙台はげみの会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 2,628人(前年度比85.4%) 令和4年度 3,077人(前年度比100.2%) 令和3年度 3,072人(前年度比123.6%)	
	《事業》 児童発達支援事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 63,690千円 (63,578千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (18千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 37,033千円 (42,352千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月～令和6年1月、指定管理者の協力のもと、障害者支援課で利用者アンケートを実施した。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の年齢や発達状況、障害特性に合わせた療育支援を工夫して行っている。 近隣の子育て支援機関と連携し、地域支援の充実にも積極的に取り組んでいる。	42/42
II 施設の運営管理体制	事業計画に基づいた運営がなされている。 情報管理の徹底に努めており、事故防止や災害発生時の対応や体制を確立している。 災害発生時の対応について、近隣保育所等とネットワークを構築しているほか、避難訓練は毎月実施している。一方、基準上毎月の実施が求められている消火訓練については実施されていない月があった。	23/24
III 施設・設備の維持管理	施設の定期的な保守点検・清掃を丁寧に行っており、利用者が快適かつ安全に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV サービスの質の向上	定期的に研修や職員会議を実施し、人材育成を図るとともに情報共有に努め、職員全体でのサービス向上に努めている。また、アンケートの実施等で利用者のニーズ把握に努め、利用者の意見を取り入れた施設運営を心掛けている。	27/27
V 施設固有の基準	集団での療育の他、1人1人の発達課題に添った個別活動の実施や、保護者との面談・療育場面の共有を通し、利用者個々の発達に寄り添った個別支援計画の作成に努めている。 指定児童発達支援事業所として、基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台はげみの会）による自己評価》
<p>1. 発達支援</p> <p>① クラスに応じた指導計画を丁寧に立て、子どもの発達状況に合わせたクラス編成を行い、視覚的支援、物理的構造化を行いながら集団で楽しめる療育内容とした。</p> <p>② 親子活動を基本としながら年齢や在籍年数に応じて単独通園ができるようにし、他クラスでも施設内分離活動を実施することで、身辺自立や子ども同士の関わりにおける成長が見られ、保護者が客観的に子どもの様子を見られる機会となった。</p> <p>2. 家族支援</p> <p>① 子どもへの理解を深め、対応のコツを掴むため、ペアレントトレーニング等の勉強会に加え、個別支援計画作成に向けた勉強会、感染症対策など実生活に合った内容の勉強会も行った。</p> <p>② 保護者相談員による相談室を開催した。共感性の高いアドバイスがもらえ、保護者の心の安定に繋がった。</p> <p>③ きょうだい児支援としてデイキャンプの開催、療育時間内のきょうだい児の預かりを実施し、育児負担軽減に繋がった。</p> <p>3. 地域支援</p> <p>① のびすく、子育て支援室、児童館での育児サロンと個別相談の支援を継続できるよう努めてきたことで、訪問支援が充実してきている。</p> <p>② 地域の関係機関からの要望に応じ、地域相談員がチームを組み、支援の手立てとなる相談も受け、連携を深める取り組みができた。</p> <p>③ 卒園児支援「さくらんぼ」を保護者向けに定期開催し、卒後の不安解消を図った。</p> <p>④ 若林・太白ブロックで「ペアレントプログラム」「初期支援プログラム」を定期的実施し、就学前療育支援の拡充に努めた。</p> <p>⑤ 保育園・幼稚園の支援者向けに講演会・ケース検討会を開催し、発達障害への理解と支援方法の拡充に努めた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>令和5年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従っておおむね適切・良好に行われていた。児童の年齢や特性に応じたきめ細かい療育を行う工夫がなされ、専門職配置を生かした療育内容の充実が図られているほか、保護者勉強会や保護者相談員による相談室の開催等、利用児童の支援だけでなく、家族支援も充実している。</p> <p>また、幼稚園・保育所等の支援者向け講演会・ケース検討会を開催するなど、地域との連携・交流を積極的に図っている。</p> <p>基準上毎月の実施が求められている消火訓練が実施されていない月があったため、一部項目について減点を行ったが、利用児童への発達支援だけでなく、家族支援や地域支援を含め、安定した質の高い支援を提供し、良好で円滑な管理運営を行っていることから、総合的には高く評価できる。</p>	A

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局障害福祉部障害者支援課